

7日(土)	サロンコンサート「多摩の民謡を唄う」
8日(日)	お茶席体験と福庵で楽しむ篠笛の調べ
13日(金)	寿生きがいひろば「人生うたい語りのつどい」



今号の主な記事

3面 市民契約保養施設のご案内 4面 年末年始ごみ・し尿収集日程 5面 アライグマ・ハクビシンの情報をお寄せください  
6,7面 12月3日～9日は「障害者週間」 9面 ひとり親家庭の福祉制度 10面 「たっけー☆☆」オリジナルナンバープレート交付

## 消防団員募集 !!

【問合せ】安全安心まちづくり課防災係 ☎ 551・1638

### 福生市消防団では、一緒に活動する「仲間」を募集しています

【対象】市内在住・在勤の18歳以上の男性  
【募集期間】随時、市役所・各分団で受け付けていますが、定員が満たされた場合は、登録していただき、定員が欠けたときに声を掛けさせていただきます。

#### ・消防団とは？

常勤の消防署職員とは異なり、火災や台風などの災害時に仕事や学業に支障のない範囲で出動し、その地域での経験を生かした消火活動などを行い、市民の生命・財産を守ります。消防団員の身分は非常勤特別職の地方公務員で、活動中に負傷した場合の公務災害補償制度や一定期間以上勤務して退団された方には退職報償金制度などが適用されます。

#### ・福生市消防団について

本部11人、第一～五分団各35人ずつ、合計186人で組織されています。任期は1期2年ですが、転居・転勤・家族状況などで途中退団することもできます。

#### ・活動内容

##### ①災害出動「火災」

地域に住み、または勤務している消防団員は、地域の隅々を知っているため、消防ポンプ自動車が進出できないような裏道などからホースをかつぐなどして火元に駆け付け、放水し、火元に近い住宅への延焼を食い止めています。

##### 「台風、大雨などの風水害」

今年、頻繁に発生している台風に対し、消防団員は台風接近とともにいち早く参集・出動し、地域の安全を守っています。

##### 「地震」

平成23年3月11日に発生した東日本大震災では、地震発生後30分以内には、消防団が指揮車と5台の消防ポンプ自動車を出動させ、市役所に設置された災害対策本部室と無線連絡を取り合い、いち早く市内の被害状況を把握し、対処しました。

##### ②防災活動

福生市総合防災訓練を始め、地域の防災訓練に参加し、日ごろの訓練などで習得した

知識や技術により、地域の皆さんに防災に関する指導をしています。

また、近年、全国各地で猛威を振るうゲリラ豪雨対策として、福生消防署と合同で水防訓練なども実施しています。

##### ③地域活動への参加

福生七夕まつり、ふっさ桜まつり、福生はたる祭では、警戒活動を実施して、地域に貢献しています。



また、10月に開催された「スポーツフェスティバルふっさ2013」に参加して、地域の人々との交流を図り、大いに盛り上げました。

##### ・その他の活動・行事

各分団では、福利厚生としてスポーツ、レクリエーションや家族も参加しての楽しい日帰り旅行なども行っています。また、消防団は、一生の友達ができる場所でもあります。

消防団で得た知識はまちを守ることのみならず、大切な自分の家族を災害から守るための知識ともなります。

ぜひ、皆さんの力をお待ちしています。

#### ▼消防団協力事業所随時受付中

認定事業所：社会福祉法人福生市社会福祉協議会（平成25年7月認定）

## 振り込め詐欺ゼロキャンペーン実施中！

### 振り込め詐欺ゼロキャンペーンとは？

市内の65歳以上の高齢者の方がいる全世帯に訪問員が伺い、振り込め詐欺の最近の手口や注意点を説明します。



振り込め詐欺防止グッズとして、たっけー☆☆をモチーフとしたボックスティッシュとマグネットをお渡しします。

#### ～説明を受けた人の声～

＜Aさん＞家族で合言葉を決めるなど、参考にしたいと思った。

＜Bさん＞ATMに振り込むタイプではなく、お金を手渡しするタイプが急増していると聞いて驚いた。

#### 被害に遭わないために！

#### ～振り込め詐欺（母さん、助けて詐欺）撲滅三か条～

- ①すぐにお金は振り込まない！
- ②他人に現金・カード・通帳は渡さない！
- ③「番号が変わった」、「風邪で声がおかしい」と聞いたら注意する！

【実施期間】2月末まで

【対象】65歳以上の高齢者を含む全世帯

【訪問員の服装】蛍光黄色のベスト・メッシュキャップ

※訪問員は身分証明書を携行しています。

【問合せ】シティセールス推進課産業活性化グループ ☎ 551・1699

に、今後子育て環境を整えていかなくてはならないと改めて感じました。

少子化・核家族化のなか、悲しいニュースを耳にすることもありますが、多くの人が不安を抱えながらも子育てを頑張っています。親子が笑顔で過ごせるように、

先日、防衛省北関東防衛局主催で「小学生絵画展」が開催されました。市内の7つの小学校から合わせて1,298人の子どもたちの力作が集まり、その中から47作品が市役所1階のエントランスに展示されました。色とりどり、大変華やかで、まさに絵の世界に国境はなく、日本の児童の純粋で素直な気持ちや感覚が作品に表れていて、私も思わず時間を忘れて一枚一枚見入ってしまったほどです。

子どもといえは私事ですが、先日二人目の孫が誕生しました。男の子で、次女にとっては初めての出産でした。里帰りして、慣れない育児に悪戦苦闘している娘の姿を見て感じたのは、当たり前の話ですが、母親というのは一日のなかでこんなに長くわが子を見つめ、そして何度も話しかけているのかということ。有史以来、人間生活のなかで繰り返されたことですが、改めて母と子の結びつきの強さを感じました。

子どものまなざし

福生市長 加藤育男



軽スポーツ&とん汁会にて